

# JGAPAPER

*2024 Spring / Summer*

2024年4月 発行 一般社団法人日本グルーデコ協会

Vol. 22



Glue  
TSUGI

グルー継ぎ

# Schedule 2024

2024年3月1日(金)～4月30日(火)	2024年度会費払込期間	※詳細は、2月29日にお送りしているメールマガジンもしくは認定講師サイトでご確認ください。
2024年5月19日(日)	プレシオサアンバサダー試験(オンライン)	

Sae's  
天声人三五口

編集後記

## 自らの発信には責任を持つことの大切さです。

現代では気軽に投稿できるSNSが当たり前の存在となっています。この時代において、誰もが自分の意見を第三者に投げかけることができる状況にあります。しかし、この自由な発信の時代においては、情報の正確性や信頼性に対する不安もつきものです。

誰が何の根拠をもつて情報を発信しているのか、それが正しいのか誤っているのかを判断する責任は全て受け取り手にあると感じます。ネット上の情報が全てではないことを意識し、自身が得た情報が信頼できるかどうかを正確に判断することが重要です。

発信する際には特に、自身が責任を持つことが不可欠です。かつての「ここだけの話」という概念がなくなり、情報は広く共有される傾向になります。そのため、個々の発信者が情報の信頼性を確認し、慎重に扱うことが求められます。

この時代においては、ネット情報に左右されずに便利な道具として利用することが望ましいです。そして、その際には常に情報の正確性を確認し、責任ある行動を心掛けることが大切です。まだわざないように、自らの行動に責任を持ちながらネットを有益に活用していきたいと思います。



◆「こんにちは認定講師です」は、今までに育てた認定講師が100人を超えたということで表彰された木村弘子先生。

アドバイスぜひ参考に!!

◆プレシオサの2025SS新作。久々のチャトン登場です！

どんな作品が生まれるのか楽しみです。

◆理事のインタビューコーナー

今回のインタビューは、美術作家・花道家の亀井紀彦氏。家の中にいて自然を感じさせる絵画のような作品、必見です。

◆2024年グルーデコカンファレンスはいかがだったでしょうか。

今年も、実行委員さんのいろんな企画炸裂で、1日セミナーが続くにもかかわらずあつという間に時間がたちました。

また来年に向けてさらに進化していく予定です。

◆レシピは、蛍光wGlue®で作る和のカラー。

春！を感じさせるカラーもぜひ、wGlue®で！！

◆戸田美紀先生のコラム。ハンドクラフトをしている人のための毎回わかりやすいアドバイスが大人気。普段の生活に、グルーデコ活動に役立ててください。

JGA Paper  
2024年春夏 Vol.22

発行：一般社団法人日本グルーデコ協会  
発行者：山岡まさえ  
住所：〒541-0042  
大阪府大阪市中央区今橋1-7-19 北浜ビルディング3階  
TEL：06-4707-0888  
E-mail：jga@wglue.co.jp  
URL：https://www.wglue.co.jp/

# Voice

## 人生の大きな節目を迎えたとき、生き方の計画を練り直すことをお勧めします。

山岡 まさえ

Masae Yamaoka

一般社団法人 日本グルーデコ協会代表理事

活かして教室を開講し、貸しアトリエをオープンしたのを、まるで昨日のことのように感じられます。息子たちも自立して、それぞれの生活を歩んでおり、子離れの目的を達成したと実感しています。

### これまでの挑戦は、人生レベルアップの為の経験値

季節に、J G A P A P E R 22号の発刊です。この時期になると、11年前の感動的な瞬間が脳裏によみがえります。

グルーデコ協会の発足、認定講師の誕生、そして認定賞の授与式。あの感動と興奮は今も心に鮮明に残っています。

ここには、春の桜満開の美しい季節に、J G A P A P E R 22号の発刊です。この時期になると、11年前の感動的な瞬間が脳裏によみがえります。

これまでの経験値を活かして教室を開講し、貸しアトリエをオープンしたのを、まるで昨日のことのように感じられます。息子たちも自立して、それぞれの生活を歩んでおり、子離れの目的を達成したと実感しています。

### 人生において素晴らしい宝物

があることは、人生において素晴らしい宝物となることでしょう。

60代。これから未来を見据え、自分の生き方を再度計画し直したいと考えています。同じ年代の方や若い方、そして先輩たちも、自分自身の生き方の計画を練り直すことをお勧めします。そしてその中で、

「好きなハンドメイド」「得意なハンドメイド」

が、人生において素晴らしい宝物となることでしょう。

最後に、この素晴らしいグルーデコ協会と共に歩んできた時間、経験、そして未来への期待を胸に、新しい季節を心から楽しんでもらいましょう。どうぞ

皆様、お身体に気を付けて、充実した日々をお過ごしください。



人生の節目に立ち、子離れの目的を達成したと実感

人生において素晴らしい宝物があることは、人生において素晴らしい宝物となることでしょう。

私自身も50代から60代へと年齢を重ね、大きな節目を迎えていました。

子供たちが巣立ち、45歳での子離れを意識した事を機に、得意なハンドメイドを

# Voice

Vita Felice

木村 弘子  
Hiroko Kimura

グルーデコ®認定講師



## 「こんなにちは認定講師です。」

**10年間ただただ自分の好きを続けてきました。**

この度、当サロンから誕生した認定講師の数が100名を超えた事で、協会から

「その為に何をされてこられましたか？」  
皆さんの参考になる事があれば…その事について書いて欲しい。」とのご依頼を受けました。

でも、私の答えは、残念ながら皆さんの期待しているような答えではないかも…

この10年間、ただただ自分の好きなモノを自分の着けたいと思うモノを作り続けてきただけ：他に特別な事は何もしていない、

私の好きな作品に皆さんのが共感してくれて一緒に作りたいと思って頂けた結果だと。

だからと言って、当サロンの卒業生が100名以上いても今現在グルーデコ®の活動をしている講師は何名いるでしょうか？一つのハンド

クラフトだけを続ける事はとても難しい事だと思います。続々と誕生する新しいハンドクラフトに誘惑される事もあれば、一つのハンドクラフトだけを続けているとアイディアも枯渇するし…そんな時は違った世界に足を踏み入れるのもいいかもしれません。

私も数年前にデコパージュを知りグルーデコ®とコラボさせた作品を作った事もあり、今春からはシルバークレイとグルーデコをコラボさせようと考えています。



**ひとつ的世界だけでなく、違う世界を見ることも大事。**  
この様に他のハンドクラフトともコラボ出来るところがグルーデコ®の強みだと思うので、今現在、グルーデコ活動に行き詰りを感じている方は違う世界からグルーデコ®を見るのもいいかと思います。



★日本ホビーショーオンライン収録画レッスン  
(申し込み期間3/15~4/15)  
★おうち習い事アプリ「ミルーム」にてグルーデコ®収録  
動画レッスン(5月末頃配信予定)

いやいや、私はグルーデコ®だけを頑張りたい！と思う方はただただひたすらに作品作りに励んで下さい。最初から完璧な作品を作ろうと思わなくていいのでただ自分の好きな作品を作り続けて下さい。そうしていくとそのうち完成度の高い作品が生まれ、そして貴方の作品を好きだと思ってくれる方が現れ、一緒に作りたいと思ってくれる仲間が増えていくはずです。

自分のイメージ通りのいや、それ以上の作品が出来上がった時に味わう高揚感・達成感はそれを生み出した人には味わえない貴重なもの。

ぜひ一緒に作り続けましょう！

それを続けていれば貴方のサロンからも沢山の卒業生が誕生すると思います！

ぜひ一緒に味わい続けましょう！

第3回  
2024年5月19日(日)開催!

# プレシオサンバサダーテスト



## 試験形式

- Zoomで自分を映し、ネットにて試験問題を掲載  
20分（前後入れて40分）
- フォームで回答する  
フォーム送信が時間内のもののみ有効
- 内容はプレシオサハンドブックから。  
及びJGA Paper(Vol.21・22)プレシオサページ
- 30点満点 25点以上合格
- 問題形式 記号選択(一部記述あり)

## 合格者

- プレシオサンバサダーの称号
- 合格者および更新された中から希望購入者に  
ピンバッジ



プレシオサンバサダー試験  
毎年1回 5月第3日曜日開催予定

受験料 2,500円  
ピンバッジ 1,000円

NEW COLOR  
Acid Yellow



PRECIOSA



NEW COLOR  
Acid Yellow

PRECIOSA

NEW COLOR  
Acid Yellow



PRECIOSA

Imperative and invigorating, Acid Yellow pulsates with main character energy.

Infused with a hint of electric green, this dopamine bright feels almost alive with saturated shine, emitting treschic sartorial shockwaves that permeate even the most rigid core aesthetics and capsule collectables.

刺激的で不可欠なアシッドイエローは、主人公のようなエネルギーに満ちています。鮮やかなグリーンのヒントが加わり、このドーパミンのような明るさは、飽和した輝きで生きているかのように感じられます。とてもシックで洗練されたショックウェーブを放ち厳格で伝統的なスタイルやカプセルコレクションにまで浸透します。

A  
C  
I  
D  
Y  
E  
L  
L  
O  
W

—アシッドイエロー—

CRYSTAL INNOVATIONS SS 2025

PRECIOSA

第11回

亀井 紀彦  
Norihiro Kamei

山岡 まさえ  
Masae Yamaoka

山岡まさえの  
この人に会いたい

# Interview

美術作家・花道家  
1981年大阪府生まれ。

2007年東京造形大学大学院造形研究科卒業。

茶道や華道など日本文化に内在する美意識と、自然と人為の境界を漂う独自の自然観で、静謐な情景を表現した作品を制作。

近年は国内外で自身のアートブランド「雨」を発表。2020年7月には神奈川県鎌倉市にアトリエ「雨 北鎌倉」を開設。

1981 大阪生まれ  
2000 大阪府立港南高等学校(現・大阪府立港南造形高等学校)美術科卒業  
2004 東京造形大学美術学科絵画専攻卒業  
2007 東京造形大学大学院造形研究科卒業  
2020 神奈川県鎌倉市に「雨 北鎌倉」を開設

【展示】

2005 「EXPANDISH」スウェーデン大使館  
2006 「内に見る亀井紀彦」フタバ画廊  
2006 「アラン・AXIS GALLERY ANNEX」  
2006 「和菓子アート展」虎屋ギャラリー  
2006 「和菓子展」spiral  
2007 「OPEN」Gallery 5610  
2014 「草月いけばな展」日本橋高島屋  
2014 「宇宙茶会 和菓子デザイン」日本橋二越  
2015 「草月いけばな展」日本橋高島屋  
2016 「M IY A V I E 花道モントレーシヨン」伊勢丹新宿本店  
2016 「草月いけばな展」日本橋高島屋  
2018 「古美術のススメ」井上オリエンタルアート日本橋  
2019 「MONO JAPAN」Lloyd Hotel オランダ アムステルダム  
2019 「Japan EXPO SIAM PARAGON タイ バンコク  
2020 「Meson&Objet」パリ フランス  
2020 「Ambiente」フランクフルト ドイツ  
2022 「メゾン・エ・オブジェ・パリ」日本橋高島屋  
2023 「Osaka Art & Design」阪急うめだ本店  
2023 「Rain exhibition」パリ・ワイヤル3邸2 パリ フランス

【所蔵】  
株式会社虎屋 福井県大野市

【その他】  
2007 東京造形大学大学院卒業制作「ZOKÉI展」ZOKÉI賞受賞  
2012 いけばな 草月流師範 取得  
2019 「MJ Award MONO JAPAN 2019」  
2019 「Young Designer Award 2019」IFT /  
2019 インテリアライフスタイル リビング

【2024年前半の予定】  
■ 展示 @TOKIWAGI (佐賀県唐津) 3月23日～4月21日(土日のみ)  
■ 展示 @高島屋大阪店 4月17日～6月8日、9日はワークショップの予定です。  
■ 展示 @三溪園(横浜) 5月17～19日  
■ 展示 @銀座三越 5月1日～7日



亀井 紀彦  
Norihiro Kamei

HP  
<https://www.kameinorihiko.jp/>



Instagram  
<https://www.instagram.com/kameinorihiko>



Online store  
<https://kameinorihiko.stores.jp/>



K 実は、僕の実家がクリーニング屋で、商売をやっていました。関係もあって毎年父と祖父が1月1日には伊勢神宮へ参拝に行っていました。ある年、祖父が「ちょっとしんどいわ」と言うので、代わりに僕が行くことになったのですが、行ってみて、とても感動したんです。大学の先生にその話をしたところ、「伊勢神宮に行くのだったら、夜明け前に内宮に入つて、日が昇っていくところを一度感じてみないか」と勧められました。それでも一度行き、また感動していました。そして、やはり自分は日本の文化に興味があるのだと気づいたんですね。そして、伊勢神宮のことを調べていくうちに、日本の美意識に興味を持ち始めました。茶道を始めたのは、美意識とは何かと考えていたところ、茶道にいきついたのがきっかけです。

Y 茶道を学ばれるきっかけなどはあったのでしょうか。

## 日本の美意識を求め、 茶道から花道の世界へ

Y (山岡) 私が代表を務める日本グルーデコ協会には、アクセサリー作家、また講師活動をされている方、教室を開いている方などが所属されています。協会の会報誌に「山岡まさえのこの人に会いたい」というコーナーを設けておりまして、私がお会いしたい方に話を伺つております。この度は、このようなお願いを聞いてくださり、ありがとうございます。

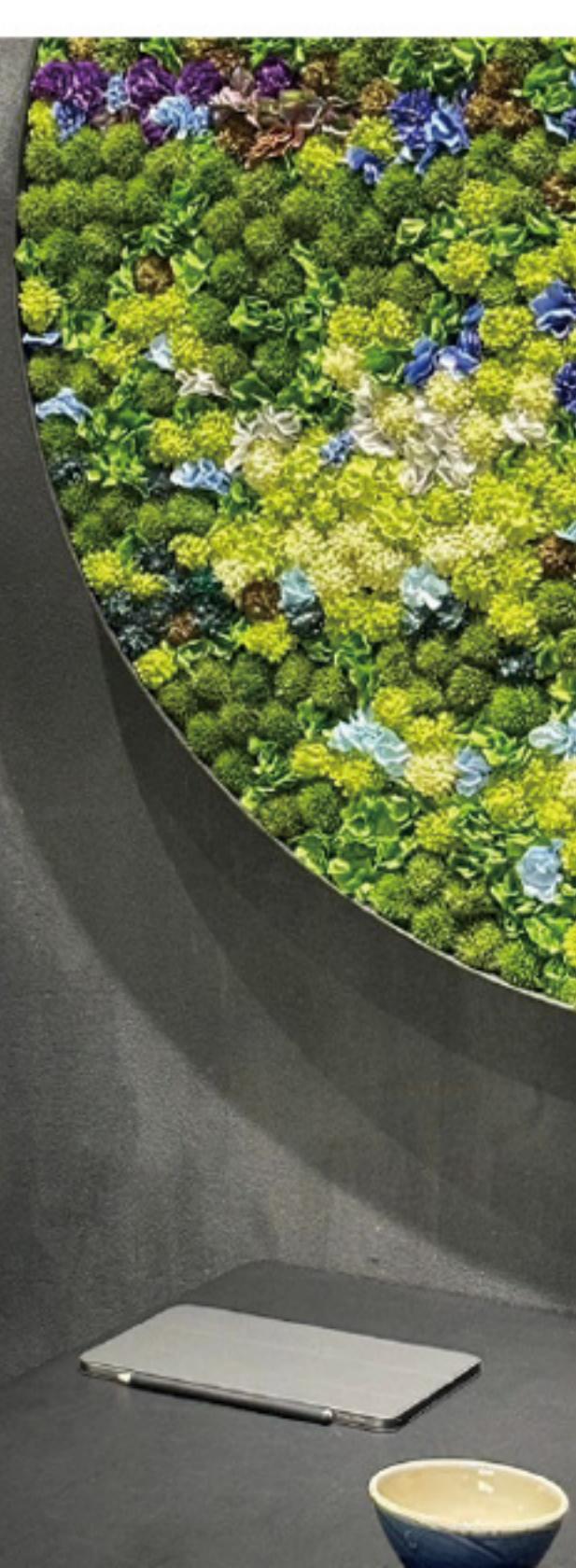
K(亀井) ええええ。ありがとうございます。

Y 昨年11月に、亀井さんのワークショップ「景色風ワークショップ」を受けました。前からずっと行きたいと思っていたのです。アートオブジェを制作したのですが、楽しくて幸せな気持ちになりました。またすぐに作りたくなりますね。ワークショップのことを私のインスタグラムに投稿したところ、協会の会員さんからも「やりたい」と言われたり、「亀井さんの作品をずっと見ていました」と言われる方もいて、感度の高い人やお洒落な人たちから注目されていると感じました。今回、亀井さんのお話を伺えたら、会員さんが喜んでくださると思い、対談をお願いしました。今日はよろしくお願ひします。

K はい、よろしくお願ひします。

Y 亀井さんは美術作家、花道家として活動しておられます、まだお花ではなく、茶道から入られたのでしょうか。

K そうです。最初は茶道で、大学生のときに始めました。



5

た。高校は大阪の港南高校(現・大阪府立港南造形高等学校)の美術科で、大学も美大です。ずっと美術、絵画を勉強してきました。美大では「表現」について、自分が何に興味があるとか、何を表現したいのかとか、自分のアイデンティティを探るような授業があります。ですが、自分の表現したいことはなかなか見つからなくて、悶々としていました。

# 『自然の壮大な景色を、小さな空間に収め、大切に愛でる』



Y 大学生のときに、お茶の道に進まれたのですね。男性で茶道を習われる方は、珍しいのではないですか？

K たしかに。でも男の先生だったから、習っている人は男性も多かったです。裏千家だったのですが、結構お家元に近い先生でした。

Y 奥の深い世界でしょう。

K いやもう、それはね……深すぎると、途中で気づくのですけど（笑）

Y でもやっぱり、先に進みたい……。

K はい、興味があるので、お手前をやつしていました。でも、習い進めていくとお金もかかるし、掛け軸であったり、お花であったり、知ることも多い。「ちょっと深すぎるな、もう少し絞りたいな」と思いまして、それでお茶の中で花、華道に目が向くようになったのが、今の花の根底になっています。

Y では両方やる方は、お茶の道もお花の道も鍛錬されていくのでしょうか。

K そうですね。ちょうど幅が広すぎると思つて。

Y その中で、もう奥が深すぎるから、お花にシフトしていこう、という感じだったのですね。

K そうですね。器もそろだし。

Y お茶をしていく中で、お花を生けることは必要なことだから、やはり両方必ずいるということですか。

K 正式には、茶道の中に華道がある、というわけではなくて、「一時は両立」同等なのかもしれません。けれど、茶道と華道は近いですよね。華道は、元は仏様に備える花といふところから始まっていると思うので。

Y 茶道の中に、華道があるのですか。

K そう考えると、別なのかな。お茶の花は、「茶花」と言われているのです。だから、茶道の中に華道が入っていて、というよりも、「茶道の中の茶花」という感じかな。

Y 「茶花」というものがあるのですね。

K はい。シンプルな、あまりデコラティブではなくて、本当に楚々とお花を生けます。

Y またそれは、華道でいう生け花とは少し違うイメージですね。楚々と生けるというのが、亀井さんの作品の雰囲気にもあるなと思ったので、やっぱり「茶花」のイメージですね。

K たしかに。だから、僕のルーツはやはり茶花かもしれませんね。

心がしつとりと潤う作品を  
アトリエに「雨」と名付けた思い

Y 亀井さんは、アトリエに「雨」という名前を付けておられます。作品でも、自然のことを大事にされているとのことですけれど、「雨」という名前に決められた、きっかけや思いがあつたのでしょうか。

K 植物をメインにして作品を作るので、「恵みの雨」のようないか植物視点の物事を名前に付けたいと考えていました。もともと僕は、晴れよりも雨や曇りのほうが好きなのです。雨というと、「見よ」と嫌なイメージがあるじゃないですか。人間にとっては嫌なイメージのものでも、植物にとっては大事で必要なものだし、人間にとっても雨のものは水です。そういうことに気づくきっかけを与えたらしいなという思いから、雨という名前にしました。

Y 現在のような活動をされる前には、どのような活動をしておられたのですか？

K 美大を出て大学院にも行つたのですが、社会を知つておきたいという思いもあり、就職しました。葬祭関係の商品企画やデザインをしている会社です。なぜそこが良かったのかというと、美術をやっていたこともあり、人の心を形にしているところです。ただ実用的なものを作るとい

うよりも、何かしら心を扱うというか、心を形にするとうか。そういうものが葬祭につながつていて、それを商売として販売するところが面白いと感じました。面白いと言ふと不謹慎かもしれないですが、一度携わりたいなと感じたのです。ご縁もあって、その会社に入りインハウスのデザイナーのような形で、6年勤めました。

Y 6年というと、まあまあ長いですね。個人のアーティスト活動にシフトするには、少し勇気のいる年数ではありますね。

K そうですね。自分の中でも一步踏み出す勇気が持てなくて、ダラダラ続けていたうちに時間が経つていつしまつた、というのはあると思います。

Y この6年の間に、現在のようなアートな活動はされていたのですか？

K 何か悶々とした部分はあつたので、自分で表現はしていましたね。そこまで大きな発表はしていなかつたですが、正社員ではなく契約社員でしたので、デザインの発表会に参加したりはしていました。

Y デザイナーとして会社で働かれていて、この「雨」をされるきっかけは何だったのでしょうか。

K やはり花の世界に行きたいと思いまして、その会社に踏ん切りをつけて、花屋に勤めたのです。華道はずつと続けていましたが、華道の世界だと少し狭いんですね。世の中を動かしている花の世界といえば、花屋だろう。華道では、花の仕入れや詳しい水上げまではやりません。ですから、一度は花屋に行きたかったのです。トータルで3年ほど、花屋に勤めました。そこでフラワーアレンジメントも少しやって、華道もやりましたが、自分がやりたいことに合つていなかったというか、僕の中に違和感がありました。もとと自分らしいものを作りたいという思いをきっかけに、自分でやり出そうと思つて「雨」をスタートしました。

Y 今で何年目でしょうか？

K オープンしたのは2020年なので、4年目です。活動自体は、その2、3年前ぐらいから少しづつ始めていました、「花山 H a n a y a m a」という生花の作品のシリーズがあるのですが、最初は生花で小さな花畠のような作品を作っていました。

Y お花屋さんでも3年。その前のデザイナーとしては6年。けつこう長いですよね。私はどちらかというと、やりたいと思ったらすぐに動くタイプなので、逆のタイプです。龜井さんは、じっくりゆっくり物事に時間をかけて進めていかれるタイプなのでですか？

K いやいや、それはポジティブな見方でしょう。僕としては、逆に要領良くできていないというか、気づいたり進めたりすることが遅いのかもしれません。計画的にどんどん勉強して、次々に吸収して……という能力はありません、じわじわ感じながら、気づいていきながらなので、そのくらい期間がかかるのでしょうかね。

Y では、気づきがだんだんおりてくるまで待つ感じでしょうか？

K それこそ、待つこともしていないと思うのです。その時はその時で、そこに浸っている感じなので。将来的に独立したいという漠然とした思いはありましたけど、計画的に、経営者のような感じでは動いてはいけなかつたので。どちらかというと、流れしていく中で少しずつ自分の意思を確認しながら進んできた、という感覚が大きいかもしれませんですね。

## 「手の中に自然の景色を」 手のひらの上で愛する

Y 生花に携わっておられる方は、あくまで生花にこだわって作品作りをしておられる印象があります。龜井さんは生花だけでなく、ドライフラワーもプリザーブドフラワー、アーティフィシャルフラワーも使っておられますよね。そこも何かきっかけになることがあったのでしょうか。

K オランダで「モノジャパン」という展示会が開催されていて、僕の友人から、展示会に作品を出さないかと話をいたしました。オランダとなると、さすがに生花は持つていません。かといって、向こうで作るのも大変です。そこで

考えました。僕が作りたいのは、生花を使った何かというよりも、日本の美意識を表現した作品であり形です。コンセプトである「手の中に自然の景色を」という思いが表現できたら、僕は別に生花でもプリザーブドフラワーでも造花でも何でもいいと思っていました。となると、作品をもっと広めるには生花では限界があると感じて、生花よりも長持ちするドライフラワーやプリザーブドフラワーを使うようになりました。

Y もう、そこに違和感はないですか？

K いやいや、今も少しはありますよ。でもそこは少しずつ、自分の中で腑に落としているところです。

Y 先ほど話された「手のひらの中に自然を作る」。そちらのほうが、龜井さんにとつては大事だということですね。

K そうですね。生花至上主義というか、生花のほうが美しいというのは、やはりあると思うのです。自分自身に、そう擦り込まれている部分もあります。ですが僕の中では、それよりも「伝えたい思いを形にしていきたい」という気持ちのほうが強い。まだ少し気になつていていたところはあるのですが、そこは自信を持つてやつていかないとな、と思っています。

Y 龜井さんは、自然とか、風景や情景という言葉をよく使われているように感じます。作品も、造花やアーティフィシャルを使っているけれども、本来ある自然からインスピレーションを受けておられるのですね。

K そうですね。自然からのインスピレーションが大きいですね。僕が表現したいのは、人間が自然を見たときに感じる潤いや、自然の些細な変化。人工物ではない機微といふことがあります。それが生花であろうと、造花であろうと、プリザーブドフラワーであろうと、僕の作品から何かその自然的な概念というか、癒しや美しさといつたものを感じ取ってもらえばいいと思っています。

Y ワークショップの中でも、「自然のものを大事にしてくださいね」と言っていたのが印象的でした。だから、龜井さんはアウトドア派なのかと思ったのですが、いかがですか。

K アウトドアでもインドアでもないのかな。別にどちらでもないというか。ですが、自分の作っている作品のことを

考へると、外で感じるものを室内に持ってきて楽しみたいというのが大きいかもしれません。日本の文化には、盆栽や箱庭のように、景色を内側に引き寄せるところがあると思うのです。手元にギュッと小さくするみたいな。インドアでアウトドアの空気を楽しみたいという部分は、何となく表現としてあるのかもしれないですね。

Y 最初に話してくださいました、伊勢神宮で感動された日本の美意識の中には、何かそういうものがあるのでしょうか。「手のひらの中の自然」と言われるよう、大きな自然を家の中に引き込むのが、龜井さんの作品作りで大切などころなんでしょうか。

K そうですね。盆栽や箱庭、また扇子など、何かを縮める文化が日本にあると思いますし、得意だと思うのです。いろんなものを小さくして愛する。小さな庭とか、床の間で海や波など壮大な自然観を見たり、自然を感じたり、想像の世界で風景を楽しむような概念が根底にあります。そういうものを、盆栽や箱庭といった既存の伝統の形ではなく、独自の表現でできたらいいな、という思いがあります。

Y 龜井さんが表現したいものは、盆栽や箱庭とは、ここが違うのですよ、という明確な、私達にわかりやすい違いはありますか？ 龜井さんの世界観、龜井さん独自の部分を言葉にすると、どうなるのでしょうか。

K ええ……難しいですね。少し待ってくださいね（笑）

Y いいですよ、ゆっくり（笑）日本の世界観というか、日本本の美意識ですよね。龜井さんは、最初オランダに行かれて、先日もフランスに行かれていて、海外に出ていかれていますよね。海外から求められて行くことが多いのですか？

K いやいや、求められて行っているわけではありません。僕自身は日本の文化に興味があるので、海外の多くの人にも知つてもらいたいですし、こんなに美しい日本の文化を、僕なりの表現で広めたいという気持ちはあります。

Y 呼ばれるというよりも、海外に向けてチャレンジしているのですか？

K 今のところは、チャレンジが多いですね。

Y 海外に行かれて、現地の方々の反応はどうですか？

K 受けがいいと言ったらおかしいかもしれないですが、日本人の細かさや緻密さが評価されています。「すごい、私達では考えられない」という反応が多いですね。瞑想的で、いわゆる東洋的な作品だと捉える方々が多いようです。

Y 海外に行かれて、現地の方々の反応はどうですか？

K 今のかもしれないですね。

Y 呼ばれるというよりも、海外に向けてチャレンジしているのですか？

K 受けがいいと言つたらおかしいかもしれないですが、日本人の細かさや緻密さが評価されています。「すごい、私達では考えられない」という反応が多いですね。瞑想的で、アでアウトドアの空気を楽しみたいという部分は、何となく表現としてあるのかもしねないです。



打ち出して、「カラフルなものが好きだから」と集まつてくださる方々も多いのです。そうしたグルーデコの人たちが亀井さんの作品にとても魅了されるのも、やはり色なのかもしれませんですね。これだけカラフルでいろんな色を使っているのに、きちんと自然を感じさせてくれる。それは、亀井さんが最初に言わされた、日本人の美意識が作品の世界観に入っているからなのでしょうね。

## より自分の表現に近い、純粹な作品を

Y 今後、力を入れていきたいことや、こういう方向性で活動していきたいというものはありますか?

K そうですね。香りのプロダクトも並行してやっていきたいのですけど、やはりもう少し自分の表現というか、アート表現に近い見せ方、展開をしていけたらいいなと考えています。僕の作品に、グリーンのプリザーブドの苔に生花を生けるという、『時山tokiyama』というシリーズがあります。苔の緑の中に、一輪挿しが組み込まれているので、グリーンだけでも楽しめるし、そこに花を入れられる。この組み合わせは、僕の中ですごく面白いと感じています。生花とプリザの融合というか、生花だけではない違う魅力もあると思うのです。そういうものの、もう少し大きい作品というか、もっとドーンと流木に苔がいつ

Y 今後、力を入れていきたいことや、こういう方向性で活動していきたいというものはありますか?

K そうですね。香りのプロダクトも並行してやっていきたいのですけど、やはりもう少し自分の表現というか、アート表現に近い見せ方、展開をしていけたらいいなと考えています。僕の作品に、グリーンのプリザーブドの苔に生花を生けるという、『時山tokiyama』というシリーズがあります。苔の緑の中に、一輪挿しが組み込まれているので、グリーンだけでも楽しめるし、そこに花を入れられる。この組み合わせは、僕の中ですごく面白いと感じています。生花とプリザの融合というか、生花だけではない違う魅力もあると思うのです。そういうものの、もう少し大きい作品というか、もっとドーンと流木に苔がいつ

ぱい付いていて、そこにいろんな花が咲いている。いろんな花が咲いているように、そう見えるように生けてある。何かちょっと異次元みたいな、桃源郷みたいな世界観を作れるような表現もできたらいいなと思っています。

Y 作品的には大きなものということですか?

K 結果的には、大きくなっていくかもわからないですね。

Y そうでしょうね。でもこちらの摺漆のほうが、亀井さんのアトリエには合っている感じがしますね。

K それは嬉しいです。

## いいものを数多く見て、そこにはないものを組み合わせることで、オリジナリティのある作品につながる

Y グルーデコ協会の会員さんは、自分で教室とかお店を持つとか、自分の屋号を持つという夢を持ち、実現を目指して頑張っている方々です。最初は趣味で始まったものを、お仕事にまで広げていきましたよ、という協会なので、そういう方々がたくさんいらっしゃいます。会員さん、グルーデコ、グルーリーの講師さんに向けて、何かメッセージやエールをいただけたら嬉しいです。

K そうなのですよ。よく気づかれましたね。取引があった山中漆器さんにお願いしました。

Y 塗りになつたのですね。すごくかわいい!

K ケヤキになりました。前までは磁瑠(ほうろう)だったので、音がカチヤカチヤと鳴つてしまっていたのです。日本の美意識を表現しているのに、そこはどうかと思いまして、デザイナー時代に石川県の山中塗りとの取引がありましたので、その方にお願いして100枚作っていただきました。

Y 年始の地震で、大変なときではなかつたのですか?

K 地震の前、昨年末です。

Y そうだったのですね。塗器って、何かもつとピカーンとしているイメージだったので、こんな素朴な感じの塗りの器があるのですね。

K ピカッとした漆器もあります。それはちゃんとした塗りで、今回作ってもらった小皿は、ケヤキの木に摺漆(すりうるし)という、もう少し簡易的なものです。摺つてあるだけなので、木目も見えます。

Y ちゃんと上塗りをするのとは、少し違うということですが…。

かもしれませんけれど、まずは今の状況と題をぱつと見て下調べした上で、その中で何かできるもの、何か本当に自分が惹かれるものをうまく組み合わせていくといいのかな、と思います。僕は美大で絵画をやっていましたが、他にもデザインの授業を受けたり、華道や茶道だったり、一つのこどだけでなく、いろんなことをやってきました。それらを組み合わせたときに、オリジナリティのあるものができるのではないかでしようか。同じものを作つても、人それぞれ、興味のあることは違います。だからグルーデコでも、何か自分を見て、そこにはないものを組み合せていくことです。

Y 今までのところは、海外のどこ、というのではありませんよ。ドイツのベルリンは、すごく好きなのですね。世界観とか、人とか、雰囲気が。

Y 今後、ここに行きたいため、ここで個展したいとか、ここに作品を飾りたいとか、そんな夢はありますか?

K やっぱり、海外というのはありますね。日本でももちろん、ギャラリーのような大きな広い空間で見せられるような見せ方ができたらいいなと思いますし、海外でも発表したいです。

Y 具体的にはドイツです。ドイツのベルリンは、すごく好きなのですよ。世界観とか、人とか、雰囲気が。

K 好きなのはドイツです。ドイツのベルリンは、すごく好きなのですよ。世界観とか、人とか、雰囲気が。

Y 作品が置かれたことはあるのですか?

K 作品は、正式にはまだないです。知り合いの家にちょっと置かせてもらつた、という程度です。

Y ゼヒベルリンに行かれるときは呼んでください。行きます!

K ゼヒ(笑)

Y 亀井さんのアトリエにお邪魔した時に感じた、美学や世界観が、どのように生まれてきたのかを、とてもお伺いしたくて、今回対談をお願いいたしました。

私はもちろん、JGAの会員の方々にとつても、とても勉強になるお話をしました。

亀井さんの、これからのご活躍を、ファンとして、ずっとワクワク楽しみにしています。

今日はどうもありがとうございました。





まるまる1年間準備  
してきたものの集大成です!

グルーデコカンファレンス実行委員長  
角野 美香 講師



### Grand Prize

認定講師100名越えで賞

1名

木村弘子先生



### 2023 Grow Prize

2023年認定講師登録多数で賞

1名

### Join Prize

本部の呼びかけに応えてくれたで賞

51名

### Elected Prize

プライズ選考頑張ってくれたで賞

31名

イベントフォーム登録

52名

ホビーショー 講師+参加

約50名

本部に遊びにきてくれた人

約50名

クラブハウスのモデレーターより(3/13より)

約50名

購入wGlue一度に20個以上(3/13より)

10名

認定講師講座キット購入(3/13より)

91名

合計 約400名

その他

578名

全国の実行委員が選出させていただきましたプライズ 総数 約1000名

# グルーデコ カンファレンス /

2024

プライズ  
発表

2020年から始まりましたグルーデコプライズは、協会が掲げる「Input Output Share」の精神を忘れず今できることを続けてきた講師に贈るJGA認定講師のJGA認定講師によるJGA認定講師のための活動です。

今年度は本部からのプライズが皆様のご意見により大幅アップ!  
総合約1000名の講師へと贈られました。おめでとうございます。

受賞された先生方の代表として、本部からのGrand Prize認定講師を100名以上育てられた木村弘子先生と、2023年に一番講師を育てられた渡辺詩歌先生にコメントをいただきました。





心にささる動画制作講座

動画制作に未経験の方は、何から始めればよいか戸惑いますよね。また、すでに動画を制作されている方も、本当に作りたい動画を作っていますか？今回の講座では、視聴者的心にささる動画を制作するためのマインドや制作テクニックについて橋高千里先生にご講演いただきご講演いただきました。モニターの小田講師の動画がみるみる変わっていきました！すごい！



まとめ

自分の  
「ワクワクの気持ち」は  
「相手に伝わる」  
“楽しんで作りましょう”

connect.pro.co.,Ltd.

ランチ

今年はブレイクアウトルーム機能を使って小部屋に分かれました。  
昨年はランチタイムが短すぎたというご要望にお応えし、  
今回は約1時間。  
理事が各お部屋を訪問いたしました。  
メニューは九州産牛もも肉のステーキ弁当。  
みんなホクホクのお弁当タイムでした。



☆美味しいそうなランチ☆

10

# ランチの後の午後開始時集合写真



ネットショップ  
活用法に関するQ&A

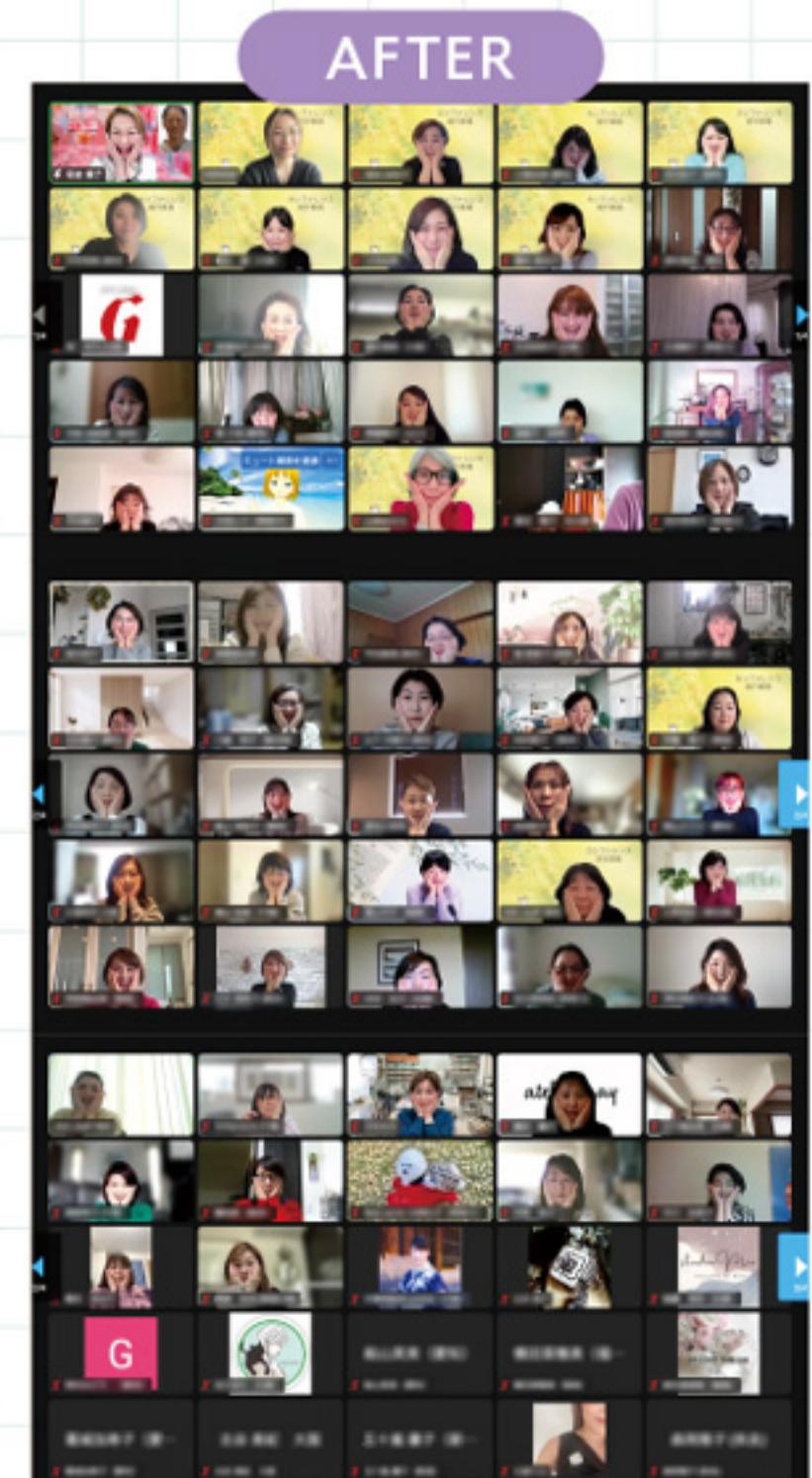
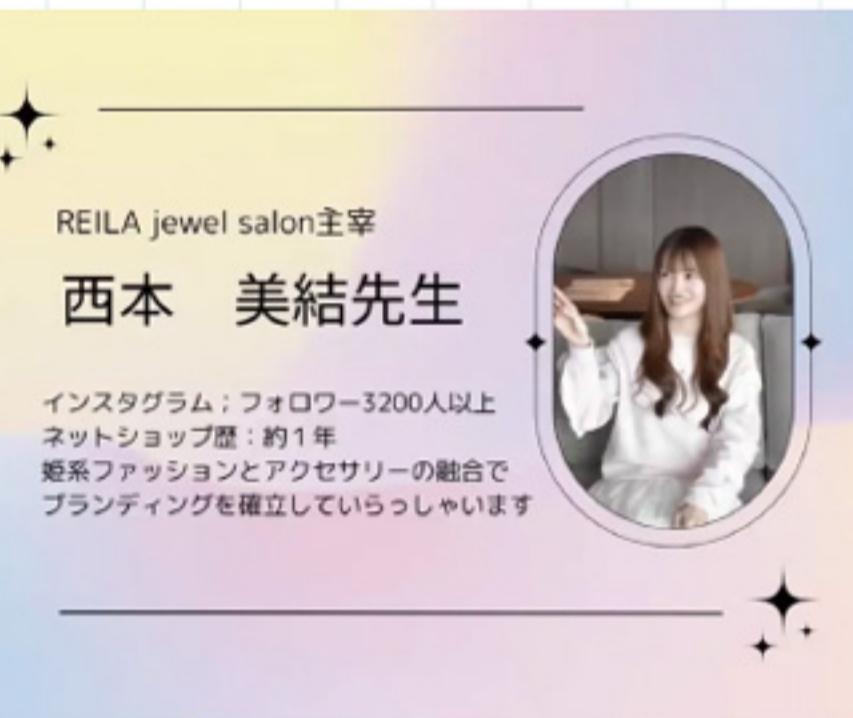
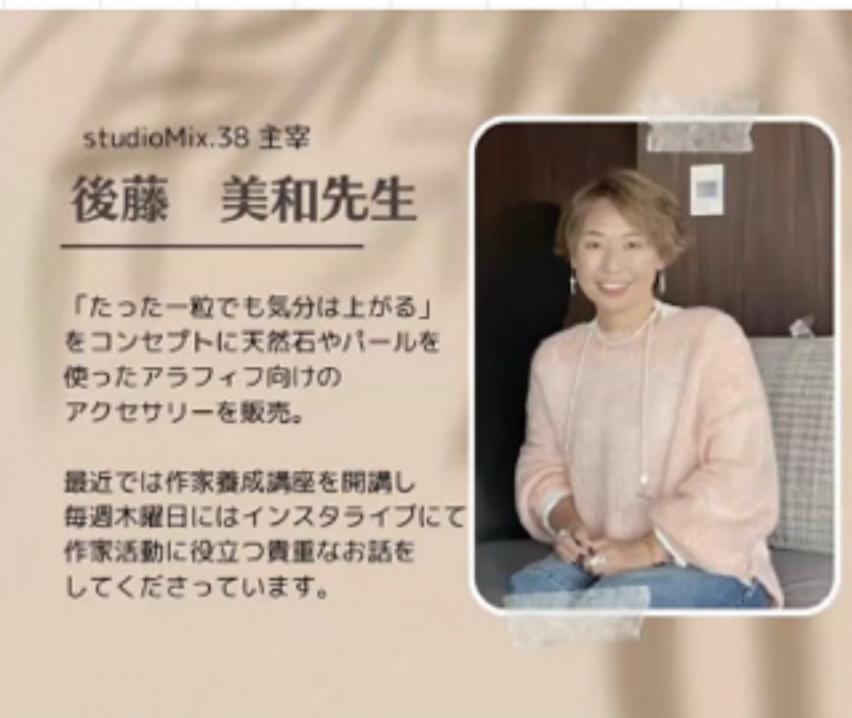
みなさんはネットショップをお持ちですか？  
ショップは開設したけれどそのまま放置してしまっている方や、これからショップを持ってみようかなとお考えの方にはとても参考になる後藤美和講師、西本美結講師のインタビューでした。

リップボンラップラッピング講座

プチプラでかんたんにできるラッピングアイデアと、おすすめのリボンの結び方が紹介されました。  
すぐ真似できそうなものがいっぱい！  
おしゃれにラッピングして贈る相手に心温まるプレゼントを届けましょう♪

朝倉優子先生  
誕生日の顔垢ブチ抜き講座

「年齢を重ねるほどキレイになれる」講座です。Instagramフォロワー1.1万人を抱える大人気講師、朝倉優子先生は整体師、ヨガ講師、小顔矯正師でもあり、美容と健康のプロフェッショナル。  
今回は朝倉先生の「楽ちんセルフケア」でリフレッシュしながら、ワンランクアップしたお顔を実感しました。ビフォーアフターの写真、見比べてみてくださいね。



気になるあの人のディスプレイ

イベントに行くと目を引くブース、思わず立ち止まってしまうブースってありませんか？鍵を握る一つの理由がディスプレイではないでしょうか。この企画では「イベント出店におけるディスプレイ」について、「マルシェ」と「百貨店」の異なる2か所、お2人の先生方のイベントを取材させていただきました。取材に応じていただいた平田直子先生、吉川浩江先生ありがとうございました。

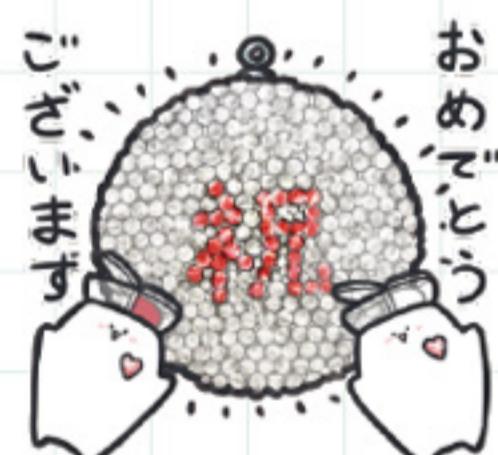


グルーの意外な使い方

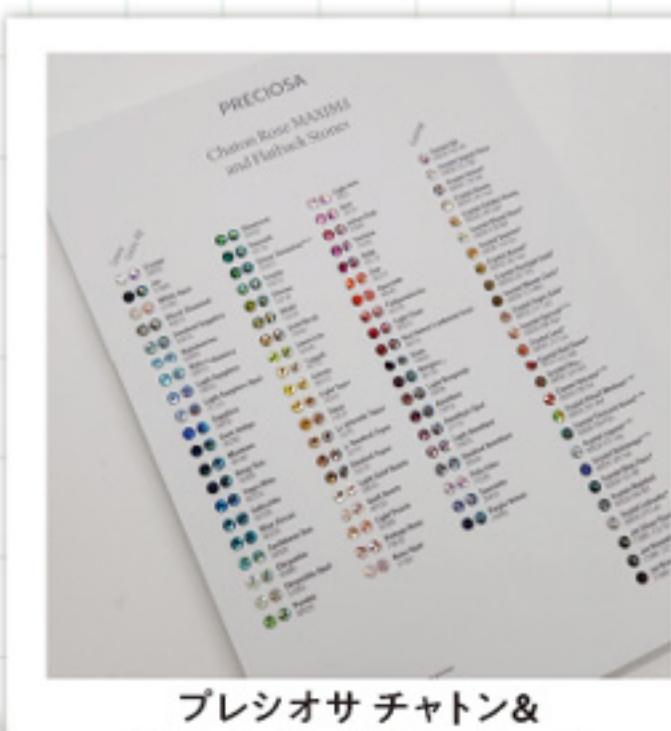
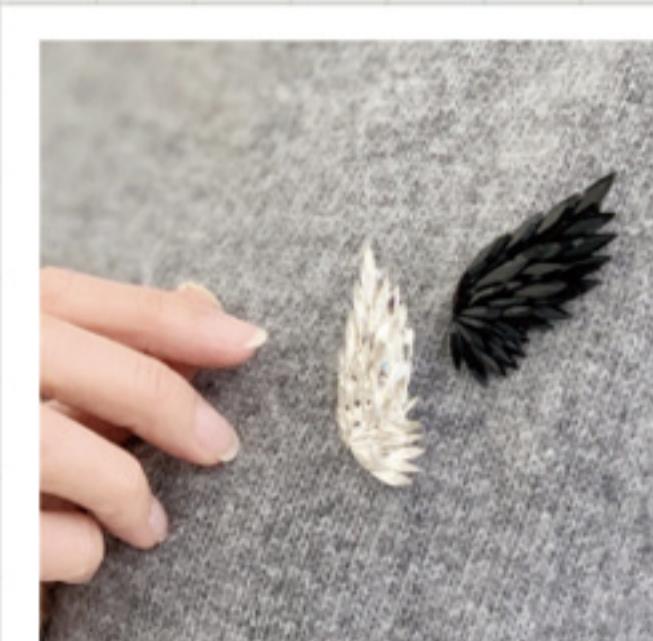
「アクセサリー作りだけではもったいない！  
このコーナーでは【目から鱗のグルーの  
意外な作品、使い方】が紹介されました！」



お楽しみのくじ引きコーナー！30名の超ラッキーな方に素敵な商品が当たりました。  
が、時間が押し気味だったため、理事が超高速でくじを引き、どの番号が誰かを  
確かめる時間もありませんでした。お手元に届いてびっくりしている方も多いかも!!



2024グルーデコカンファレンスプレゼント

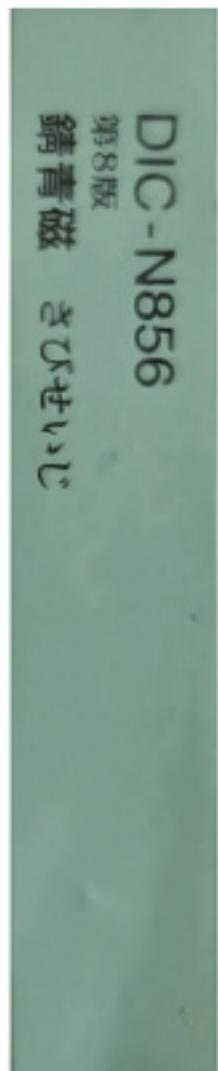


wGlue ゴールド & シルバーセット	5名様
バキューム	2名様
wResinカラーフルセット	3名様
ブラックWingキット	10名様
プレシオサ色見本(フラットパック)	3名様
PRECIOSA手帳&鉛筆&ボールペンセット	7名様

合計 30名様

# ネオ・カラードで作ろう! 和のカラー

# Recipe



DIC-N856 錫青磁(さびせいじ)  
5gレシピ

ネオンイエロー 0.33g  
ネオンシアン 0.67g  
(もしくは、V14 1g)

ジェット 0.17g  
クリスタル 3.83g



DIC-N997 青鉛(あおにひ)  
5gレシピ

ネオンシアン 2.55g  
ネオンマゼンタ 1.02g  
(もしくはV19 3.57g)

ジェット 0.79g  
クリスタル 0.64g



DIC-N903 薄藤(うすふじ)  
5gレシピ

ネオンシアン 0.13g  
ネオンマゼンタ 0.32g  
(もしくはV21 0.45g)

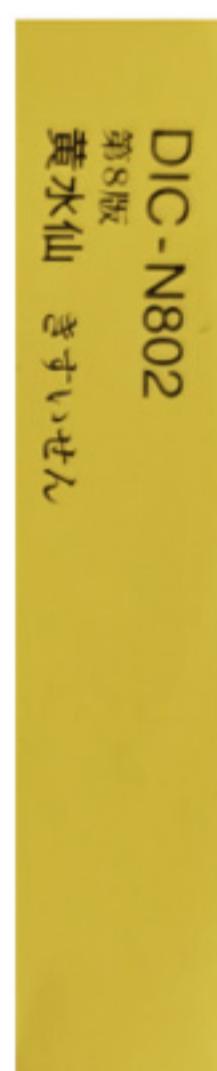
クリスタル 4.55g



DIC-N905 藤色(ふじいろ)  
5gレシピ(5.01g)

ネオンシアン 0.72g  
ネオンマゼンタ 1.79g  
(もしくはV21 2.51g)

クリスタル 2.5g



DIC-N802 黄水仙(きすいせん)  
5gレシピ

ネオンイエロー 3.69g  
ネオンレッド 0.19g  
(もしくはV5 3.88g)

クリスタル 1.12g

※和のカラーはDIC COLOR GUIDE 日本の伝統色 第8版にあわせ混色しています。

※会報Vol.21に蛍光カラーを使用した色相環のレシピが掲載されています。

※写真のカラーは目安にのみお使いください。



## wGlueご使用上の注意

- ・お子様が誤飲されないよう手の届かないところで作業・保管してください。
- ・グルーを使用する際はゴム手袋を着用してください。体质によってはかぶれる場合があります。
- 万一異常がありましたら医師にご相談ください。
- ・直射日光を避け、涼しい場所に保管してください。

# Column

## 変化をおそれず、自分の道を決めて進む1年に！

2024年は、新年から波乱の幕開けとなりました。まだ記憶に新しいですし、復興に向けて動いている途中ですから、私たちも出来ることを続けていきたいところです。

新年から大きく変わると言えば、2020年も同じでした。

「風の時代が始まる」と伝えられたタイミングで、風で広まるウイルスの蔓延で始まることは忘れられませんよね。2024年は天災と事故でスタートしましたが、2024年も大きく変わると言われていましたから、それは間違いないと言つていいでしょう。しかも、今年は経済でも大きく変わります。昔から紙幣や貨幣が変わる年は経済状況が予測できないほどの変化があると言われています。今年の7月には新紙幣に変わります。どんな状況になってもあわてずに行動できるよう、準備しておきましょう。

毎年3月20日前後に宇宙元旦（春分の日）があり、宇宙カレンダーとしての新年がスタートします。年頭に掲げた目標を思い出して、ゴールデンウィークまでにはある程度、行動に移しておきましょう。さらに覚えておいてほしいのが、5月下旬に訪れるラッキースター木星の移動です。今年は1年を通して「拡大」や「発展」のキーワードがありますから、以下のポイントを覚えておいてください。

- ①仕事6・プライベート4の割合にする
- ②決めたことはコツコツ続ける
- ③シルバー細工のものを持つ
- ④自然と触れ合う
- ⑤山羊革のモノを持つ

### クリエイター的、2024年前半の動き方

新年最初のコラムなので、2024年前半の、クリエイター&ハンドメイド作家的動き方を12星座ごとに載せますので、参考にしてください。太陽星座で見てくださいね。

#### ● 牡牛座生まれ（3月21日～4月20日）

作品のアイデア出しなど、孤独にやるよりも仲間と一緒にやることで大きな変化や発展に恵まれる時です。あなたを中心には、コミュニケーションを作つても良いかもしれません。牡牛座のキーワードは、「ポジティブ」。何か困ったことがあっても、ポジティブでいれば乗り越えられます。

#### ● 蝎座生まれ（4月21日～5月21日）

5月末までが超開運期。今年叶えたいこと全てに、この期間中に手をつけておきましょう。作品デザインを一気に考えておくのも吉。行動は小さくても良いので、自身で手応えを感じるところで動くこと。今年は「牡牛座」言葉」なので、得意なSNSをこの期間に見つけておくのもOK。

#### ● 双子座生まれ（5月22日～6月21日）

12星座の中で1位、2位を争うほどの開運イヤーなので、好奇心や直感に従つて、あれこれ考えずに行動すること。5月下旬にターニングポイントが訪れ、そこまでに動いてきたことが大きな結果をとして身を結ぶので、やりたいことがあるなら、コツコツと進めておきましょう。

#### ● 蟹座生まれ（6月22日～7月23日）

年内に叶えたいこと、やりたいことをしっかりと決めて、それを「誰」とやればいいのかを考えてつながりたい人にアポイントを取つておきましょう。デザインを考えたり、作品作りが途中で止まつている人は、前半に完成させてしまうこと。そうすることで今年後半の運気が上がります。

#### ● 獅子座生まれ（7月24日～8月23日）

作品作りには、「ドラマ」や「ストーリー」を意識してください。お客様にストーリーが伝わると共感してもらえる1年になります。そのアイデアを前半に出し切つてくださいね。あなたの作品を中心に大きな輪が生まれるイメージも。自信を持って作品を全面に出してください。

#### ● 天秤座生まれ（8月24日～9月23日）

「今までの自分」とは違う、変革を目の当たりにする1年になりますので、年頭に掲げた目標を改めて見直して、行動する内容を決めてください。「これまで考えたことなかつたのに」「今までやつたことないのに」という出会いほど大事にしましょう。作品も、これまでと違う分野に挑戦してもいいかも？

#### ● 虹座生まれ（9月24日～10月23日）

迷つたり、モヤモヤしていたことが、今年前半で全て解決し、さらにチャンスにつながります。そこを忘れず、やりたいことを決めて行動に移してください。その行動が今年後半の自分自身を助けます。作品作りは、「これは社会貢献につながるか？」と考えると道が開けるでしょう。

#### ● 魔羯座生まれ（10月24日～11月22日）

家族、友人、お客様など、目の前に現れる人を徹底的に大事にすること、一気に運気が上がります。新しい人脈を作る期間にして集中することで、その大きな出会いは、これまでには考えたことのないような新しい居場所、コミュニケーションになるかもしれません。あなたの作品も多く人の目に留まるチャンスも訪れます。

#### ● 山羊座生まれ（12月23日～1月20日）

今年は1年を通じて運気が高いので、「自分のいるべき場所」をよく考えて、安心安全の場にいることを心がけてください。自身の作品に関して、自分の実力を上げることを考えて行動しない。人間関係でイラッとすることがあります。全力で回避することも大事です。

#### ● 水瓶座生まれ（1月21日～2月19日）

今年は1年を通じて運気が高いので、「自分のいるべき場所」を小さなことでも幸せを感じる気持ちを忘れないことで運気が上がります。1年を通じて「人間関係」がキーとなるので、人を大事にしつつ、今年前半「使命感」を感じる方向に舵を切つて、作品作りを進めていきましょう。

#### ● 魚座生まれ（2月20日～3月20日）

人から学び、人に助けられ、人と共に運気を上げていく1年になります。「これまで人を大事にしてきたかな?」「丁寧な言葉で人に対応してきたかな?」と見直しつつ、交流、発信を続けてください。作品作りのインスピレーションも、人からもらいます。新しい開拓にもつながるかも？

#### ● 魔羯座生まれ（3月21日～4月19日）

どの星座も、今年は多かれ少なかれ変化があるはずです。前向きに受け止めつつ、感じたことを作品作りに活かしてください。楽しみながら進めていきましょう！



ブログ『出版メディア相談室～WEB文章からSNS構築、出版まで～』  
<https://ameblo.jp/miki-coco/>



Instagram  
[https://www.instagram.com/toda\\_miki/](https://www.instagram.com/toda_miki/)



戸田美紀  
Miki Toda

文章勉強歴、宇宙勉強歴40年。

ブックライター、ビジネス融合コンサルタントとして活動しながら、宇宙の法則、スピリチュアルについても発信している。